

サーキュラーエコノミー実践者に学ぶ

四国発!



環境ビジネスの
今を知るセミナー

オンライン
開催

参加費無料

定員 250名

*申込方法等は裏面をご参照ください。

ビジネスモデル 構築や取組の ポイント

2022
3/11 FRIDAY
14:00~17:00



プログラム

※別途、質疑応答の時間あり(前半・後半)。進行により、時間は若干変動する可能性があります。

近年、有限資源の枯渇や気候変動、海洋プラスチック問題をはじめとする資源の不適正な管理等の環境問題が地球規模で深刻化し、環境対応に関する社会的な関心が高まっています。

こうした背景の下、今後は環境問題への対応を大きな成長の機会と捉え、環境負荷の低減と経済成長を同時に達成できるような新たな環境ビジネスモデルを生み出していくことが注目されており、サーキュラーエコノミー（循環経済）と呼ばれる、あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を図る経済という考え方が普及してきています。

本セミナーでは、サーキュラーエコノミーへの移行が加速する環境ビジネスの最新動向や、サーキュラーエコノミー構築を実践する企業や大学の研究シーズの紹介を通じて、SDGs や産業公害防止など、今日的な視点に沿った環境ビジネスの展開・飛躍の在り方や取組ポイントについて学びます。

ご関心のある方はぜひご参加ください。

主催：四国経済産業局
問合せ：セミナー事務局 /
株式会社ダン計画研究所 Tel:06-6944-1173

前半 14:00~15:40

環境ビジネスの最前線
—今日的な環境ビジネスの動向、最新事例—

基調講演

14:05~14:45

「脱炭素社会の実現に向けて、今動き出す、
新たな循環型経済（サーキュラーエコノミー）への転換」

壁谷 武久 氏（一般社団法人サステナブル経営推進機構 専務理事）



企業事例

14:45~15:10

「循環のサプライチェーンから取り組むサーキュラーエコノミー
—プラットフォーム化で参加しやすい循環型社会へ—」

沖田 愛子 氏（日本環境設計株式会社 広報）



産業公害防止に関する講演

15:10~15:35

「産業公害防止の取組や技術をSDGs経営につなげるためのポイント」

井口 忠男 氏（一般社団法人産業環境管理協会 環境管理部門 人材育成・出版センター）

後半 15:50~17:00

四国から発信するサーキュラーエコノミーを
加速させる技術シーズとビジネスモデル

四国地域の大学等研究機関における技術シーズの実用化例

15:50~16:10

「食品廃棄物からエネルギーを回収するコンパクトな省エネ型排水処理システム」

山崎 慎一 氏（高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授）

四国地域の企業事例

16:10~16:50

「高い技術力と斬新なアイデアで、バイオマスや廃棄物を建築資材に」

藤本 和照 氏（藤本産業株式会社 取締役）

「古米からつくられるバイオマスプラスチック歯ブラシ
—全国のホテルで採用されるホテルアメニティ製品—」

武内 英治 氏（山陽物産株式会社 代表取締役）



四国発！環境ビジネスの今を知るセミナー — サークュラーエコノミー実践者に学ぶ ビジネスモデル構築や取組のポイント —

2022年3月11日(金) 14:00 ~ 17:00

使用ツール：Microsoft Teams

- ・ PCでの参加を推奨します。
- ・ 専用アプリか、Webブラウザを使って利用します。
 - ※専用アプリの場合： App Store や Google Play から Microsoft Teams アプリをダウンロードしてください。
 - ※Webブラウザの場合： 推奨ブラウザは以下のとおりです。
 - *Windows OS: Microsoft edge、Google chrome *Mac OS : Google chrome

参加費無料
オンライン開催



【出演者プロフィール】

■ 壁谷 武久 氏 (一般社団法人サステナブル経営推進機構 専務理事)

経済産業省出身。2007年～2019年まで一般社団法人産業環境管理協会にてLCA事業、地域・産業支援事業に従事した後、2019年6月に一般社団法人サステナブル経営推進機構を設立し、同10月から同協会の地域・産業支援部門業務を引き継ぐ独立組織として専務理事に就任。現在、SDGs達成に向けたESG、サーキュラーエコノミーなど、サステナブル経営の推進を通じた新たなビジネス創出支援のための情報発信、調査研究等を行っている。

■ 沖田 愛子 氏 (日本環境設計株式会社 広報)

本社は神奈川県川崎市。リサイクルインフラの構築・運営を行うベンチャーとして2007年設立。大型SC、百貨店、洋品店などプロジェクトに参加する企業店舗を回収拠点として、消費者から回収した衣類のうちポリエステルを対象に独自技術を用いて再生ポリエステルを製造、さらに服の製造・販売を手掛ける「BRING」を展開し、2020年度「グッドデザイン金賞」を受賞。2021年4月にはペットボトルの国内完全循環を目指した企業間連携コンソーシアムを設立し、グループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社を中心に、飲料用ペットボトルの水平リサイクル事業も展開している。

■ 井口 忠男 氏 (一般社団法人産業環境管理協会 環境管理部門 人材育成・出版センター)

公害防止管理者制度をはじめとする環境人材育成、化学物質管理、LCA、カーボン・フットプリント制度、資源循環・リサイクル促進、環境学習支援など、企業の環境管理を支援する事業に幅広く取り組む一般社団法人。

井口氏は、大手化学メーカーで環境・化学物質管理に関する社内指導とリスク管理、行政・業界対応に携わった後、2006年より同協会に参画している。

■ 山崎 慎一 氏 (高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授)

長岡技術科学大学大学院工学研究科終了後、大手環境プラントメーカー、高知工業高等専門学校 助手・准教授を経て、2016年より現職。主な研究テーマは、下水や産業廃棄物等の高機能省エネルギー型廃水処理装置の開発など。高知県内の環境機器メーカーや大手環境エンジニアリング企業と、食品加工工場等の厨房排水を微生物の力で排水処理できるシステムを共同開発し、実用化されている。

■ 藤本 和照 氏 (藤本産業株式会社 取締役)

本社は香川県高松市。建設材料の企画・製造・販売を行う。未利用木材や廃棄物を原料にした繊維板にアスファルトを浸透させて製造するコンクリート用構造用目地板「スーパータイト」や、廃タイヤを材料としたノンスリップ・弾性舗装・緩衝用マット「アブソープマット」など、産業廃棄物を材料とした建設材料を数多く企画・開発し販売。中でも、「スーパータイト」は環境配慮型製品として大手ゼネコンでも採用されている。

■ 武内 英治 氏 (山陽物産株式会社 代表取締役)

本社は愛媛県伊予郡松前町。ホテル用の消耗品、業務用化粧品、販売を行う。食用には適さなくなった古米を配合したホテル向けの歯ブラシを開発・販売。販売当初は販売が順調ではなかったが、近年では2022年4月のプラスチック資源循環促進法に向けて全国から問い合わせが相次ぎ、同社のヒット商品となっている。

お申し込み方法 (締切 3月9日(水)まで)

下記のホームページアドレスより申込フォームへ進み、必要事項を記入してください。
(参加者名、企業・団体名、メールアドレス など)

<https://www.shikoku-resources-energy.go.jp/circular-economy/>



問合先 セミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内) TEL 06-6944-1173 E-Mail seminar@shikoku-resources-energy.go.jp

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する運営・情報提供、主催者である四国経済産業局のセミナー等に関する情報提供についてのみ使用いたします。